

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

市では児童・生徒一人ひとりの基礎学力の定着状況を把握し、学力向上に向けた授業改善や学習指導に役立てるため、全国学力・学習状況調査の結果を活用しています。

令和2年度の本調査は、新型コロナウイルス蔓延による臨時休業のため中止されました。

例年4月に実施されていた本調査ですが、本年度は、国語、算数・数学の2教科の悉皆調査として令和3年5月27日（木）に実施されました。

この調査結果は児童生徒の学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意してご覧ください。

■調査日

令和3年5月27日（木）

■対象者

○小学校6年生

市内9小学校 457人

○中学校3年生

市内4中学校 476人～477人（教科により参加生徒数が異なるため）

■調査内容

○教科に関する調査

○生活習慣や学習環境などに関する児童生徒質問紙調査

教科に関する調査

■調査科目

国語、算数・数学

■調査結果

下表のとおり

「教科別平均正答率」は、千曲市全体の平均値と全国・長野県の公立小・中学校の平均値を比較しています。

「結果の概要」は、市全体の状況を中心に記述しています。

調査科目		教科別平均正答率	結果の概要
小学校 6年生	国語	全国・長野県と同程度	<ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことはできている。 ・目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
	算数	全国・長野県と同程度	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積の求め方について理解できている。 ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することに課題がある。

中学校 3年生	国語	全国・長野県と同程度	<ul style="list-style-type: none"> ・文脈に即して漢字（「詳細」）を正しく読むことや相手や場に応じて敬語を適切に使う（「行く」を敬語に直す）ことはできている。 ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題がある。
	数学	全国・長野県と同程度	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることはできている。 ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。

生活習慣や学習習慣などに関する児童生徒質問紙調査

■調査結果

下表のとおりです。令和元年度と比較すると改善が図られた項目がある一方、数値が下がっている項目もみられ、課題があります。

●生活習慣

「毎日朝食をとる」という基本的な生活習慣は、前回と同様、ほぼ良好な結果です。

●地域とのつながり

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の問いは、全国と比べて良好であるものの、コロナ感染症の蔓延により、地域の行事が中止されたりしたため、参加の割合が大きく減りました。

●家庭学習習慣

平日2時間以上、学校の授業以外の学習時間を確保している児童生徒の割合は、小6、中3とも全国を下回っています。

●コロナ感染症の影響

令和2年4～5月の休業期間中、勉強について不安を感じた割合は、全国と比べて小6は同程度、中3はやや下回っています。

区分	質問	はいと回答した割合 ()は令和元年度		全国との比較
		小学校6年生	中学校3年生	
生活習慣	朝食を毎日食べていますか	91.0 (89.6)	87.6 (85.1)	全国と比べて、小6児童、中3生徒とも上回っています。
地域とのつながり	今住んでいる地域の行事に参加していますか	51.0 (62.6)	32.1 (44.8)	全国と比べて、小6児童、中3生徒とも上回っています。
家庭学習習慣	学校の授業以外に、平日2時間以上勉強していますか	21.4 (27.5)	28.1 (31.0)	全国と比べて、小6児童、中3生徒とも下回っています。
コロナ感染症の影響	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休業していた期間中、勉強について不安を感じましたか	30.0 (なし)	31.7 (なし)	全国と比べて、小6児童は同程度、中3生徒はやや下回っています。

※「はいと回答した割合」の数値は、1 当てはまる、2 どちらかといえば当てはまる、3 どちらかといえば当てはまらない、4 当てはまらない のうち1と回答した児童生徒の割合

今後の対応について

■各学校

- ・調査結果について全職員で分析・考察して、これまでの指導の成果と課題を明確にしたうえで改善策、向上策を策定するとともに、年間を通して授業の充実・改善に取り組み、児童生徒一人ひとりの学力の定着と学習意欲の向上を図ります。
- ・基本的な生活習慣や学習習慣の確立が学力の定着，向上を図るうえで重要であるとの認識に立ち、家庭学習内容を見直し、家庭学習の仕方について指導し、家庭と連携して生活・学習習慣の改善に向けた取り組みに努めます。
- ・児童生徒個々の結果については、個別懇談会などを通じて伝えるとともに、それぞれの課題に応じた学習指導を適切に行っていきます。

■市学力向上推進委員会

- ・各校の分析、考察、改善策の策定等を推進・支援し、市内小中学校の授業改善、児童生徒の学習習慣獲得等に生かします。また、全小中学校で共通の認識のもと、学力向上に向けた取り組みを推進します。

■教育委員会

- ・学校の状況に応じ必要な指導や支援を行うとともに、教職員の研修や配置及び GIGA スクール推進等の教育施策の充実に努めます。